

《 会場への交通アクセス 》



地方議会活性化 シンポジウム2018

人口減少社会を迎え、地方議会への多様な人材の参画をどのように実現するか



ホテルの最寄り駅からのご案内



電車

- 東京メトロ南北線 (N-02) ○ 都営三田線 (I-02)

白金台駅 ▶▶▶ 2番出口より左へ 徒歩約4分

- 東京メトロ南北線 (N-03) ○ 都営三田線 (I-03)

白金高輪駅 ▶▶▶ 1番出口より左方面 徒歩約5分

- 都営浅草線 (A-06)

高輪台駅 ▶▶▶ A2出口左方向 徒歩約15分



バス

<都営バス> 所要時間 約5分

● **目黒駅** 大井競馬場行<品93系統> ▶▶▶ **白金台駅停留所** 下車

● **品川駅** 目黒駅行<品93系統> ▶▶▶ **白金台駅停留所** 下車

<ホテルバス> 所要時間 約5分

以下の区間で無料のホテルバスを運行していますのでご利用ください。

● **目黒駅** ←→ **シェラトン都ホテル東京**

● **シェラトン都ホテル東京** → **品川駅**

※品川駅へはお送りのバスのみですのでご注意ください。

※発車時刻は、ホテルホームページ (<https://www.miyakohotels.ne.jp/tokyo/access/index.html>) 等でご確認ください。

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2
TEL:03-5253-5510 FAX:03-5253-5511

会場のお問い合わせ先

シェラトン都ホテル東京

〒108-8640 東京都港区白金台1-1-50
TEL:03-3447-4360 FAX:03-3447-6403
<https://www.miyakohotels.ne.jp/tokyo/index.html>

開催日

平成30年**11月19日**(月)
15:00~17:45

会場

シェラトン都ホテル東京
(東京都港区白金台1-1-50)

◆シンポジウム:会場「醍醐」 ◆交流会:会場「嵯峨」

地方議会活性化シンポジウム2018のご案内

開催趣旨

我が国では、人口減少社会を迎え、合意形成が困難な課題が増大する中、住民に身近な地域の問題を取り扱う地方議会が担う役割の重要性は高まっているが、投票率の低下や無投票当選の割合の増加に見られるように、地方議会に対する関心の低下や議員のなり手不足等の課題は深刻化してきており、これに対応し、各地方議会において、議員の裾野を広げるための様々な自主的な取組が行われている。

また、18歳選挙権が実現し、若者の政治参加への機運が高まってきているほか、政治分野における男女共同参画法が成立し、活躍する女性議員の数も着実に増加している。

こうした状況の中で、地方議会を巡る課題や具体的な取組を題材に、地方議会への多様な人材の参画をどのように実現するか等について意見交換を行うシンポジウムを開催し、広く情報発信する。

テーマ 人口減少社会を迎え、地方議会への多様な人材の参画をどのように実現するか

プログラム

シンポジウム

会場「醍醐」

14:30	受付開始		
15:00	開会・総務省挨拶		
15:05	基調講演	大山 礼子氏	駒沢大学法学部教授
15:50	休憩		
16:05	パネルディスカッション		
	コーディネーター	城本 勝氏	(株)日本国際放送社長
	パネリスト	岩永 ひさか氏	東京都多摩市議会議員
		大屋 雄裕氏	慶應義塾大学法学部教授
		下岡 幸文氏	長野県喬木村議会議員
		鈴木 健太氏	秋田県議会議員
		谷口 尚子氏	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授

※50音順

17:45 閉会

交流会

会場「嵯峨」

18:00～19:00 交流会 情報交換の場です。皆さんぜひご参加ください。

基調講演

「地方議会に未来はあるか？」



大山 礼子氏 駒沢大学法学部教授

1954年東京都生まれ。一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。博士(法学)。国立国会図書館勤務、聖学院大学助教授、同教授を経て、2003年より現職。地方制度調査会委員、衆議院選挙区画定審議会委員。専攻は政治制度論。著書に『日本の国会』、『フランスの政治制度』など。

パネルディスカッション

コーディネーター



城本 勝氏

(株)日本国際放送社長

1957年熊本県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日本放送協会(NHK)に記者として入局。政治部副部長、報道局記者主幹、解説委員室解説副委員長、福岡放送局長を経て、2018年から現職。テレビの討論番組やシンポジウムの司会等を数多く担当。日本自治学会理事も務める。

パネリスト



岩永 ひさか氏

東京都多摩市議会議員

1977年兵庫県神戸市生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、中小企業金融公庫(現在の日本政策金融公庫)に勤務。2002年4月多摩市議会議員補欠選挙に当選。2017年5月から多摩市議会議員。2006年明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了。公共政策修士(専門職)。

パネリスト



大屋 雄裕氏

慶應義塾大学法学部教授

1974年生まれ。東京大学法学部卒、同大学助手・名古屋大学大学院法学研究科教授等を経て2015年から現職。専攻は法哲学。地方制度調査会委員、内閣府「人間中心のAI社会原則検討会議」構成員、総務省情報通信政策研究所特別研究員等を務める。著書に『法哲学と法哲学の対話』(共著)、『裁判の原点:社会を動かす法学入門』ほか。

パネリスト



下岡 幸文氏

長野県喬木村議会議員

1955年長野県喬木村生まれ。東京農業大学卒業。元JAみなみ信州喬木支所長。2013年喬木村議員に初当選。現在2期目。2017年6月に議長就任。以降「住民に必要とされる議会の役割とは何か」「地方議会での議員の仕事とは何か」「出来ない理由を考えるのではなく出来る理由を考えよう」を合い言葉に独自の感覚で議会の活性化に取り組んでいる。

パネリスト



鈴木 健太氏

秋田県議会議員

1975年大阪府生まれ、神戸市育ち。京都大学法学部卒業後、陸上自衛隊に幹部候補生として入隊。国内外で業務に従事。2006年に退職し、妻の地元秋田へ移住。司法書士として勤務するかたわら、2015年に秋田県議会議員に初当選。産業観光委員、地方創生に関する調査特別委員を務め、現在は、総務企画副委員長。4児の父でもある。

パネリスト



谷口 尚子氏

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授

1970年広島県生まれ。慶應義塾大学大学院修了後、東京工業大学准教授等を経て、2016年から現職。地方制度調査会委員、内閣府「地方分権改革有識者会議」議員、内閣官房「地域魅力創造有識者会議」委員等を務める。著書に『現代日本の投票行動』ほか。